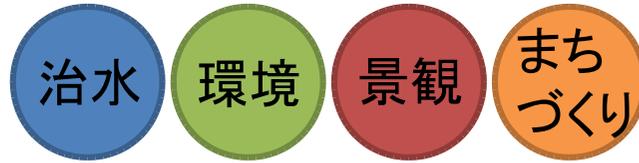


水辺・水面利活用の取り組み状況

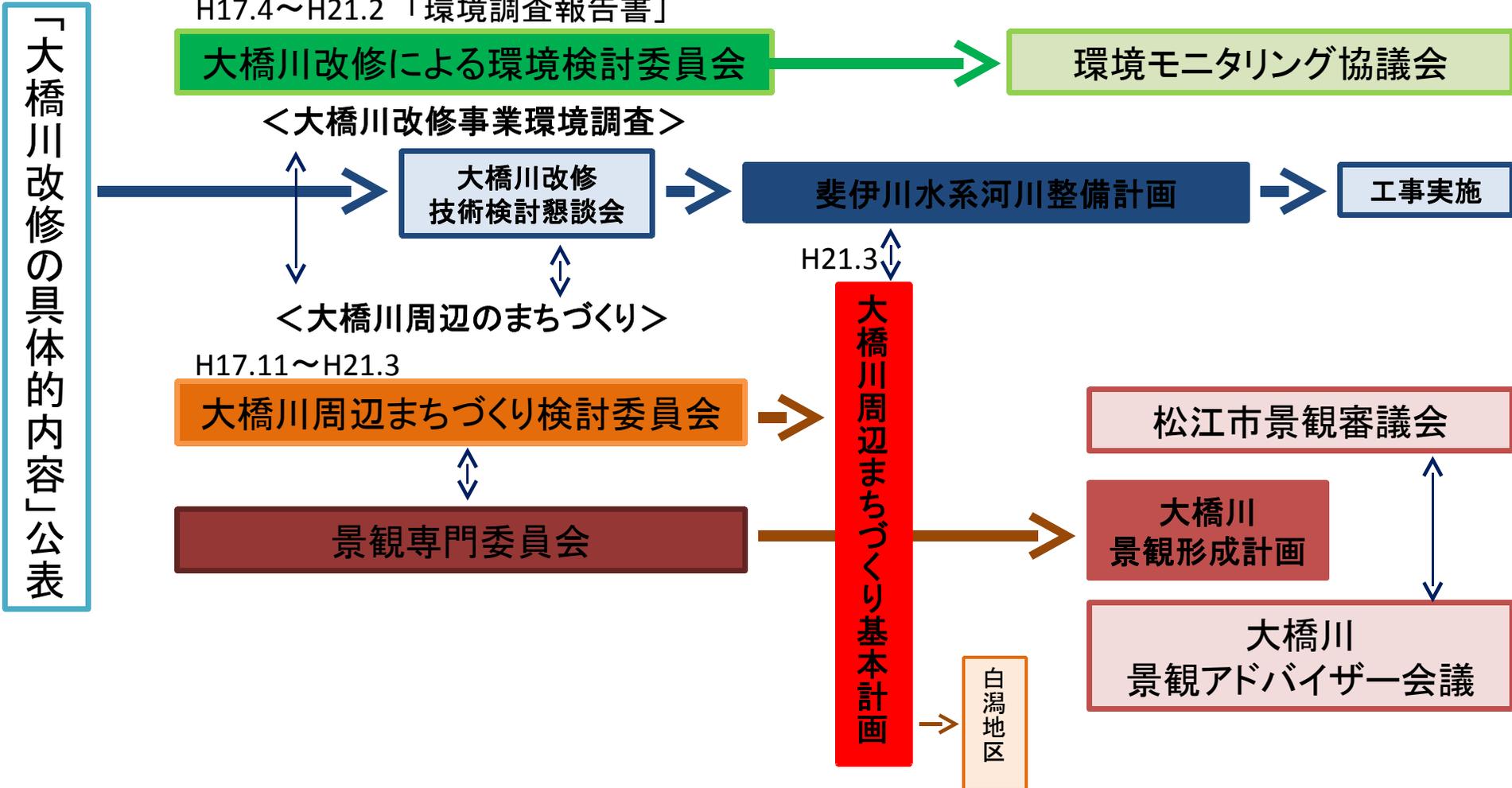
大橋川周辺水辺回遊公園

1. 大橋川周辺まちづくり基本計画



に配慮しながら計画を策定

H16.12.1



1. 大橋川周辺まちづくり基本計画

大橋川周辺まちづくりの全体像

「大橋川周辺まちづくりの全体像」は、「基本方針」を「各地区の整備の骨格」へと具体化するために、水辺の利活用、観光振興・商業振興と関連させながら、宍道湖から中海に至る水都松江の全体像としてまとめたものである。

水都松江の水辺を活かしたまちづくりの理念は、季節の景・一日の景を楽しみながら散策できる回遊性を重視した「水辺回遊公園都市」とする。「水辺回遊公園」とは、宍道湖・大橋川の既存の親水空間、新たに創出・再生する水辺空間、良好な視点場、環境学習の場等を含む巨大回遊空間のことである。

宍道湖・大橋川・中海を繋ぐ水辺の回遊公園都市は、出雲国風土記のスケール感でとらえ、松江城・堀川遊覧、歴史や文化を活かしたものである。

いずものくに ふどき つな 出雲国風土記のスケール感で繋ぐ、宍道湖・大橋川・中海の水辺回遊公園都市

出雲国風土記

奈良時代の723年に完成した出雲国風土記は、八咫水臣津野命(洪水神)が大津波の「國の乱状」と美保宮の「夜更が浜」を願として、それぞれを三枝山と大山を船として結び、遠くの新羅半島や熊野半島から命つた土地を引き寄せ島根半島としたと、巨大なスケールの國引き神話で始まっている。大橋川はこの國引きによる鎮い日に当たる神分、巨大なスケールの中にある。

岸辺の回遊コース

- 南北を繋ぐ上流の4つの橋を歩いて巡り、季節や一日の中で異なる多様な水辺の表情を見ながら回遊できる空間を創出する。また、夕日スポットや県立美術館、白洲公園等を繋ぐ連続した空間となるよう配慮する。



- 回遊コースの随所に休憩スポットとなる場を創出し、水辺の歩きを感じる事が出来るよう配慮する。(休憩場広場等)

- 伝統的まちなみや、良好な視点場に配慮した空間とする。

まち歩き回遊コース

- 松江駅前から水辺へ誘導する歩行者動線に配慮する。
- 商店街を歩きながら、松江城まで回遊できる多歩行者動線を意識したまちづくりとする。



- 松江城、カラコロ広場、堀川遊覧、宍道湖遊覧等の観光資源と市街地内の公園等を活かし、商業・観光振興と運動した歩行者動線に配慮する。

- 伝統的まちなみや楽しみながら散策し、水辺の公園や親水空間で休憩できるスポットを創出する。

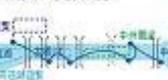
松江大橋

- 松江大橋を架け替える場合のデザインは、歴史・文化を感じさせる風情を大切にしたいものとする。
- 現在の風情を引き継いだ橋となるよう配慮する。
- 岸辺の回遊コース・まち歩きコースとともに、歩行者動線の中心となる北軸と位置づけ、南北に休憩できる緑地の公園を検討する。



水上回遊コース

- 宍道湖・大橋川・中海をつなぐ、風土記のスケール感を感じながら回遊するコースを、商業振興・観光振興と併せて検討する。

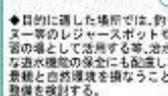


- 乗船場等の水上交通の拠点となる場所を創出する。(配慮についても検討)

- 水都松江の風情と水郷風景を最大限に活かし、堀川遊覧、宍道湖遊覧、中州周遊等との連携に配慮する。

水郷回遊コース

- 自然豊かな水郷風景を見ながら回遊できる歩行者・自転車道として活用する。



- 目的地に適した場所では、釣りや、カヌー等のレジャースポットや環境学習の場として活用する等、水上上流的な治水機能の保全にも配慮しながら、景観と自然環境を損なうことのない整備を検討する。

- 現在の生活道路としての機能や水辺の歩き、水郷風景等、地域の特性に配慮した河岸を検討し、歩行者や自転車が河岸を回遊できるように連続性に配慮する。
- 自身が喪失する豊かな自然が存在する大橋川河口では、環境学習の場としての可能性を、河原にはヨシ原の再生等を検討する等自然豊かに配慮する。

北岸：歴史・文化のかけこみを残す「和の意」のまちづくり

- 水辺に現存する夕日スポットや県立美術館前、白洲公園、運動公園を繋ぎ、宍道湖や大橋川の水の流れ、季節や一日の中で異なる多様な景観を楽しみながら回遊できる「岸辺回遊コース」の一部として楽しめる、歴史・文化のかけこみを残した「和の意」を活かしたまちづくりを行う。(景観形成の誘導措置を併せて検討)
- 河岸形状や人の動線、車の動線、商業振興などを考慮し、憩歩・道路・沿道建築物との調和を図りながら「まちな骨格」を検討する。
- 老舗旅館や飲食店等、伝統的な施設も構想の重要なポイントとして位置づける。
- 伝統的まちなみや生活道路は、通行規制も含めた検討を行う。



南岸：回遊公園都市の拠点となる水辺の公園を中心としたまちづくり

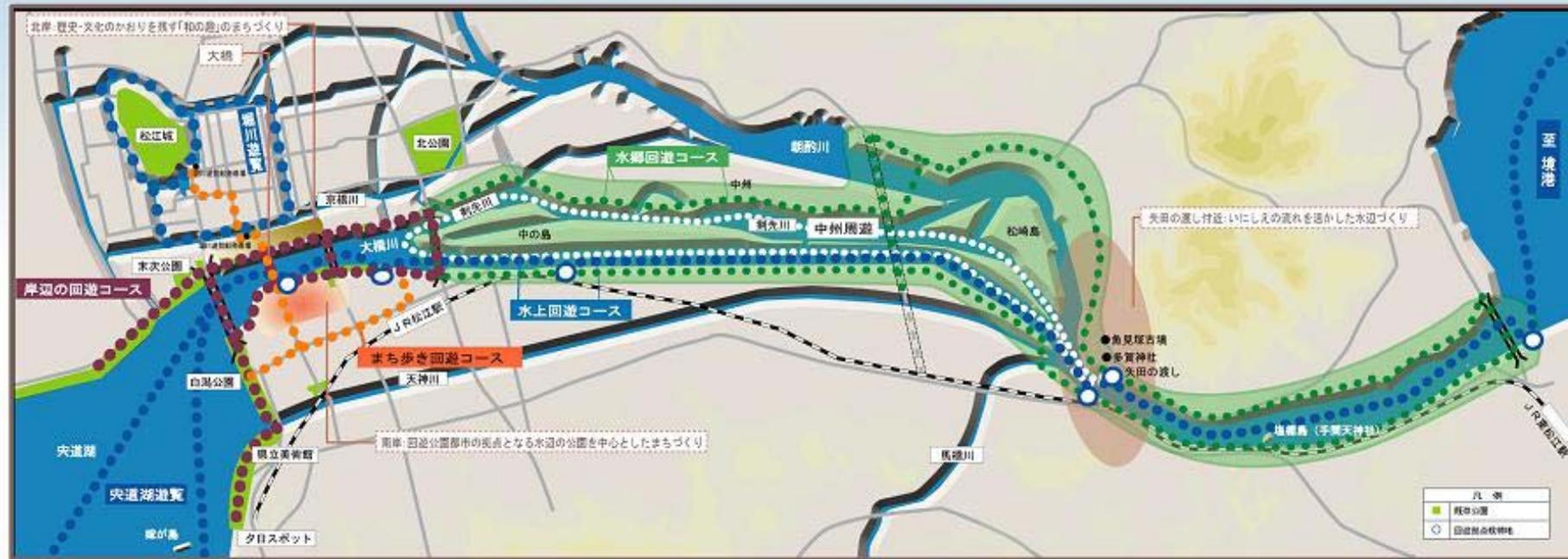
- 水辺に現存する夕日スポットや県立美術館前、白洲公園、運動公園を繋ぎ、宍道湖や大橋川の水の流れ、季節や一日の中で異なる多様な景観を楽しみながら回遊できる「岸辺回遊コース」の拠点となる「大橋川回遊公園」を中心としたまちづくりを行う。(園地的整備の検討)
- 拠点となる水辺の公園や、人の動線、車の動線、商業振興などを考慮し、道路や公共施設等の配置を決める「まちな骨格」を検討する。また、水辺は人の動線を主とし、背後の道路では、歩・車道分離や通行規制も含めた検討を行う。

矢田の渡し付近：いにしへの流れを活かした水辺づくり

- 水上回遊コース「水郷回遊コース」の休憩スポットや水上交通拠点候補として検討する際には、多賀神社、魚見塚古墳、塩屋島等の歴史・文化的財産を活かした空間となるよう配慮する。



資料から図面作成へのサポートとして提供された位置関係図



凡 例	
■	親水公園
○	回遊拠点候補地

1. 大橋川周辺まちづくり基本計画

「大橋川周辺まちづくり基本計画」で示した構想を受け

“水辺回遊公園”としての水辺空間の利活用について、次の視点で考えています。

視点 1 水上遊覧

視点 2 まち歩き文化

視点 3 水辺レジャー拠点

視点 4 歴史・文化・環境学習エリア

視点 5 ジョギング・サイクリングコース



水辺空間の利活用の取り組みとして、4つのコースをヒントに社会実験をしまし

岸辺の回遊コース

◆南北を繋ぐ上流の4つの橋を歩いて巡り、季節や一日の中で見せる多様な水辺の表情を見ながら回遊できる空間を創出する。また、夕日スポットや県立美術館、白鷺公園等を繋ぐ連続した空間となるよう配慮する。



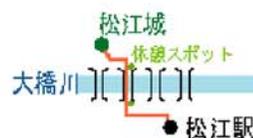
◆回遊コースの随所に休憩スポットとなる場を創出し、水辺の近さを感じることが出来るよう配慮する。(橋詰め広場等)

◆伝統的まちなみや、良好な視点場に配慮した空間とする。



まち歩き回遊コース

◆松江駅前から水辺へ誘導する歩行者動線に配慮する。
◆商店街を歩きながら、松江城まで回遊できる歩行者動線を意識したまちづくりとする。



◆松江城、カラコロ広場、堀川遊覧、突道湖遊覧船等の観光資源と市街地内の公園等を活かし、商業・観光振興と連動した歩行者動線に配慮する。

◆伝統的まちなみを楽しみながら散策し、水辺の公園や親水空間で休憩できるスポットを創出する。



視点 2
社会実験② オープンカフェ
～ 水辺でお茶しましょ!～

H25
10/19・20

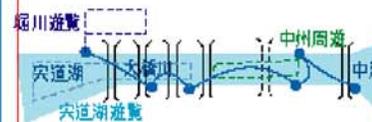


視点 1
社会実験① 水上遊覧
～ 船に乗って「川歩き」～

H25
10/19・20

水上回遊コース

◆宍道湖・大橋川・中海をつなぎ、風土記のスケール感を感じながら回遊するコースを、商業振興・観光振興と併せて検討する。



◆乗船場等の水上交通の拠点となる場所を創出する。(配置についても検討)

◆水辺沿いの風情と水郷風景を最大限に活かし、堀川遊覧、突道湖遊覧、中州周遊等との連携に配慮する。



視点 3
事前調査 プレカヌーツーリング
～ 水辺を周遊してみたら～

水郷回遊コース

◆自然豊かな水郷風景を見ながら回遊できる散策道、自転車道として活用する。



◆目的に適した場所では、釣りや、カヌー等のレジャースポットや環境学習の場として活用する等、治水上有効な治水機能の保全にも配慮しながら、景観と自然環境を損なうことのない整備を検討する。

◆現在の生活道路としての機能や水辺の近さ、水郷風景等、地域の特性に配慮した河岸を検討し、歩行者や自転車が河岸を回遊できるよう連続性に配慮する。

◆白鳥が飛来する豊かな自然が現存する大橋川河口では、環境学習の場としての可能性を、河岸にはヨシ帯の再生等を検討する等自然景観に配慮する。



視点 4・5
社会実験③ だんだん道路
ウォーキング

H25
11/24

2. 新たな可能性も見える水辺空間～社会実験

「大橋川周辺まちづくり基本計画」の
回遊をキーワードに
水辺の楽しみ方を試す

水上遊覧

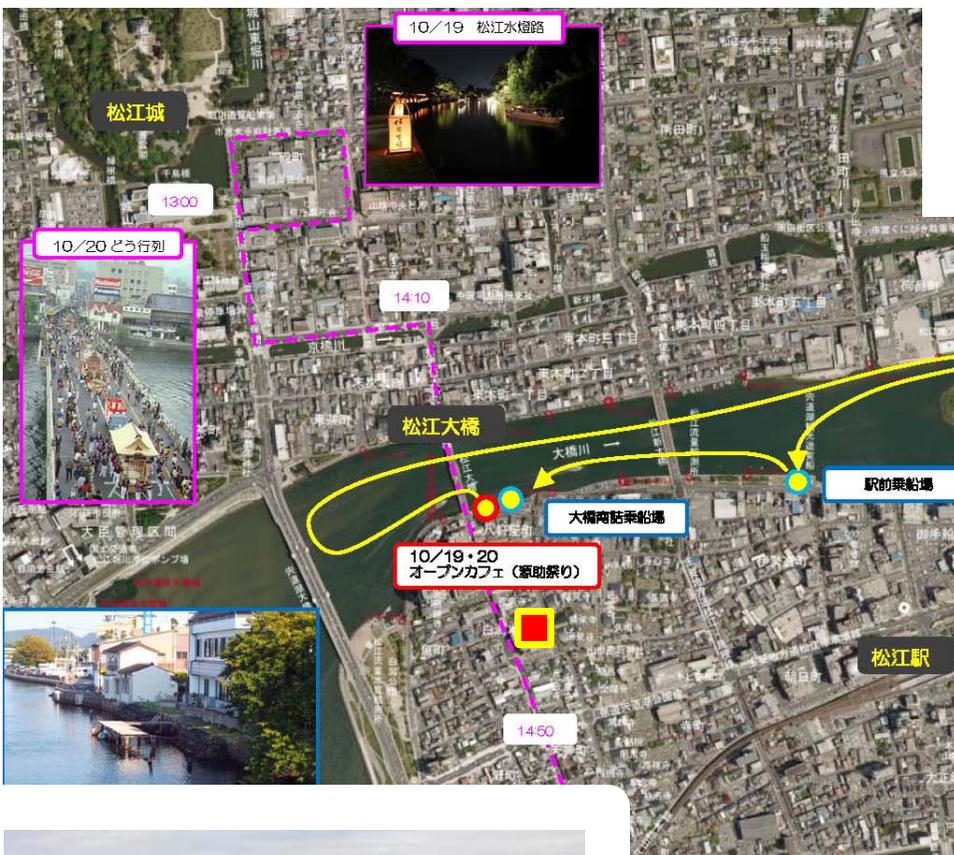


2. 新たな可能性も見える水辺空間～社会実験

オープンカフェ



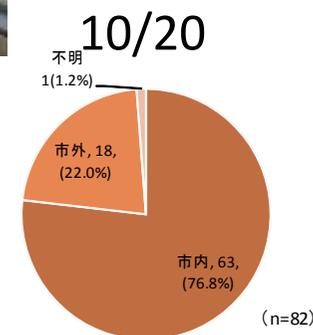
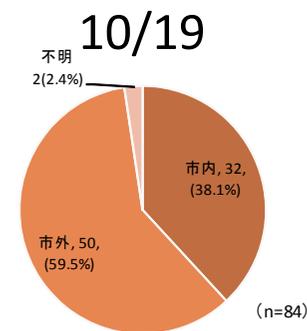
2. 新たな可能性も見える水辺空間～社会実験



	乗った人数	降りた人数
19日(土)	71	48
20日(日)	33	24



	乗った人数	降りた人数
19日(土)	16	19
20日(日)	1	22

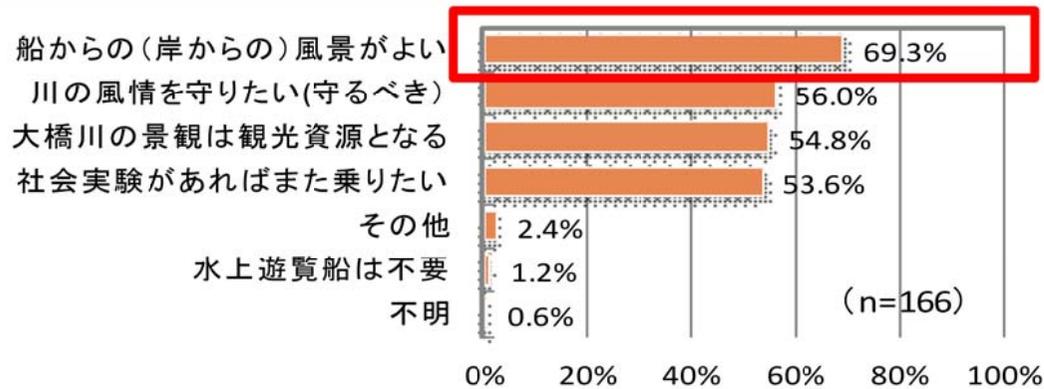


	乗った人数	降りた人数
19日(土)	15	35
20日(日)	72	60

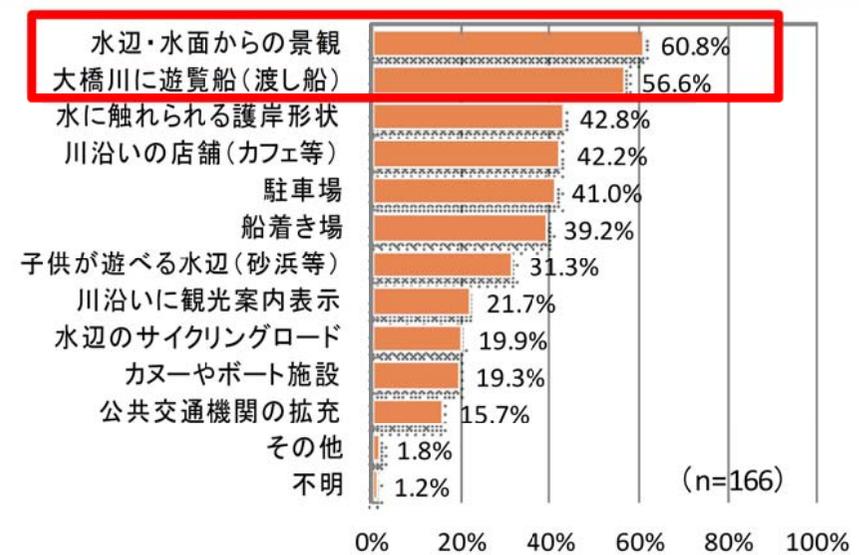
2. 新たな可能性も見える水辺空間～社会実験

水上遊覧<アンケート>

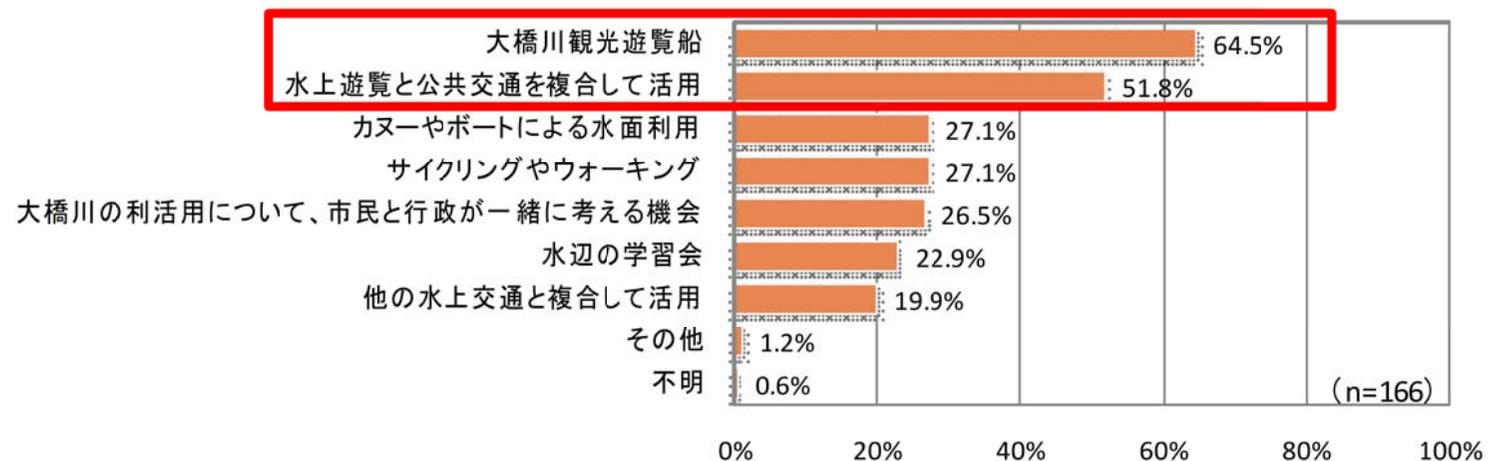
■水上遊覧の感想



■親しむために重要なこと



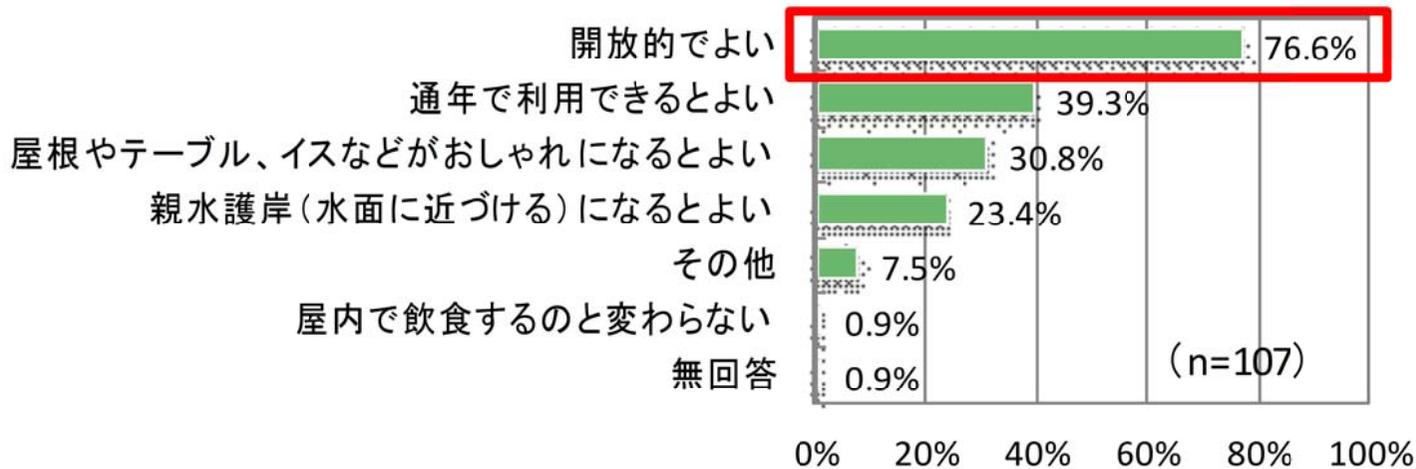
■取り組みとして期待するもの



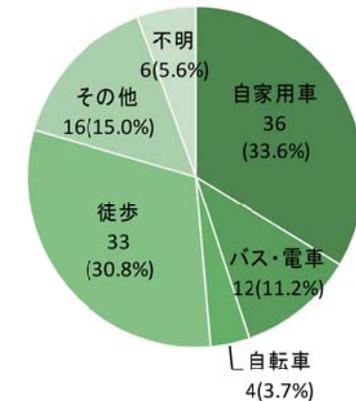
3. 新たな可能性も見える水辺空間～社会実験

オープンカフェ<アンケート>

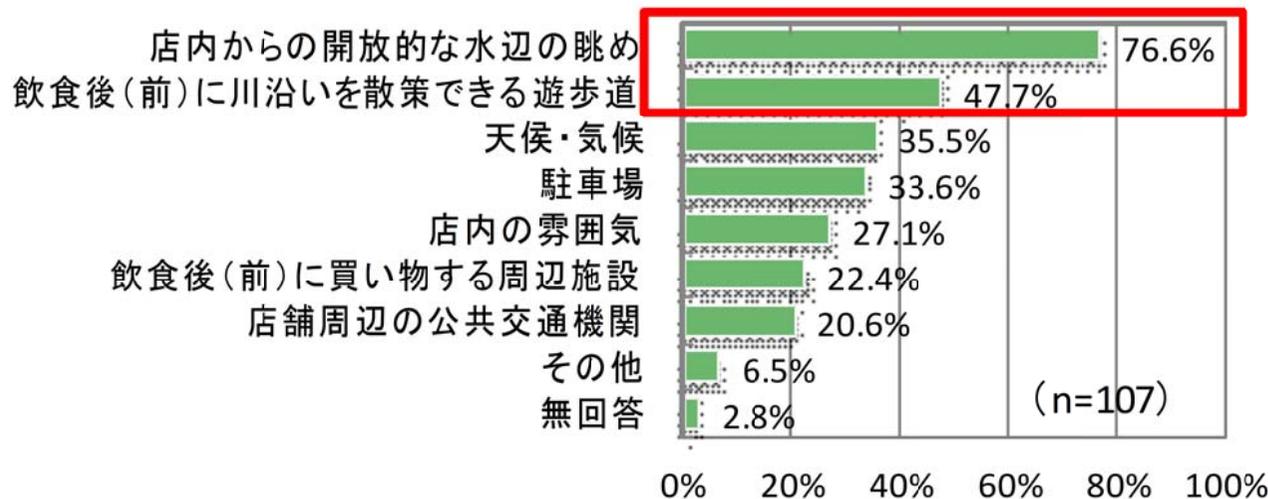
■オープンカフェの感想



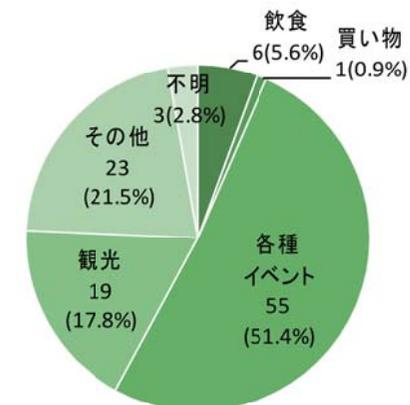
■交通手段



■訪れるために重要なこと



■訪れた目的

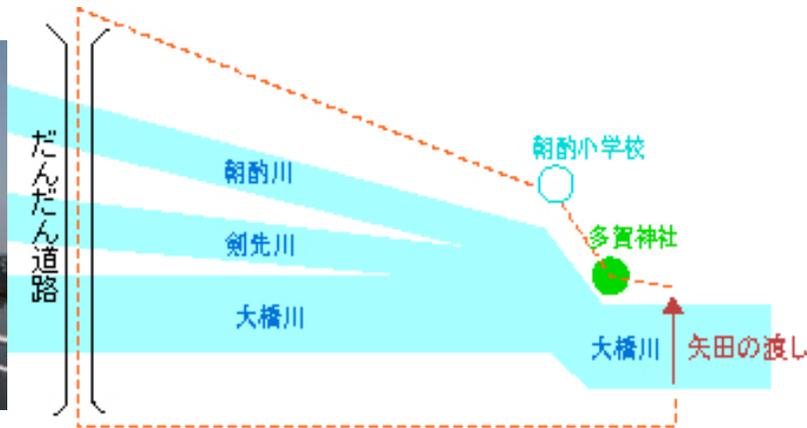


2. 新たな可能性も見える水辺空間～社会実験

だんだん道路ウォーキング



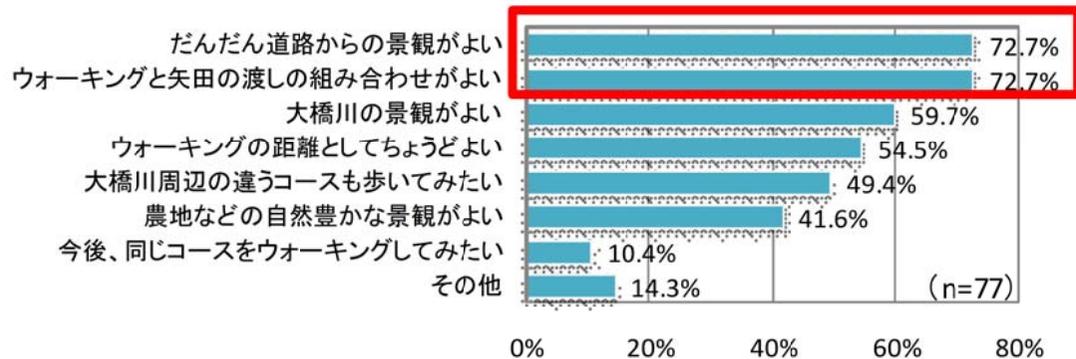
2. 新たな可能性も見える水辺空間～社会実験



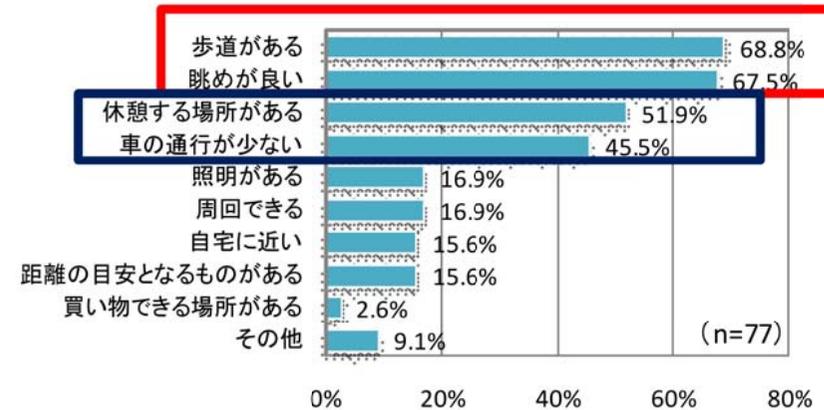
2. 新たな可能性も見える水辺空間～社会実験

だんだん道路ウォーキング<アンケート>

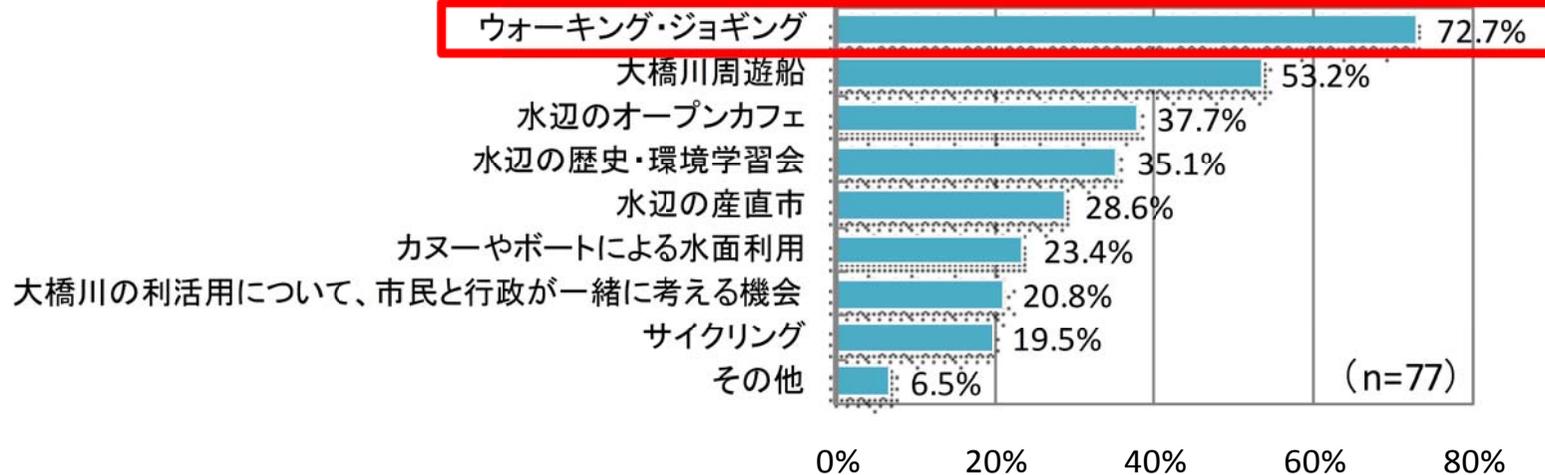
■ウォーキングの感想



■ウォーキングの際に重要なこと



■今後の取り組みとして期待するもの



3. 市民と考える“水辺を楽しむ方法”～ワークショップ

【考えるテーマ】

- ①水辺と水面を活かしたまちあるき
- ②水辺と水面を活かしたスポーツ・レジャー
- ③水辺と水面を活かした歴史・環境体験エリア



3. 市民と考える“水辺を楽しむ方法”～ワークショップ

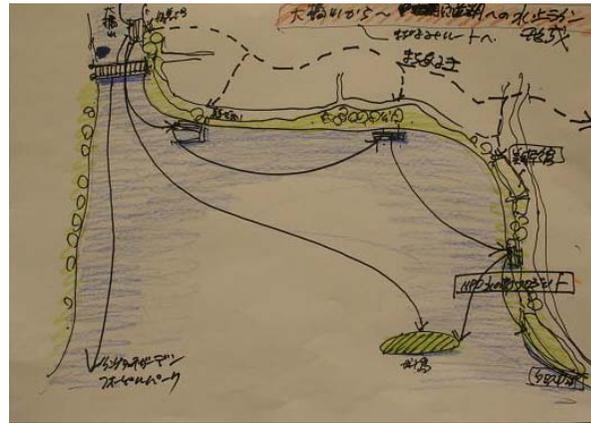
テーマ① 水辺と水面を活かした

まちあるき

まちかどスポット



大橋川と宍道湖の水上ライン



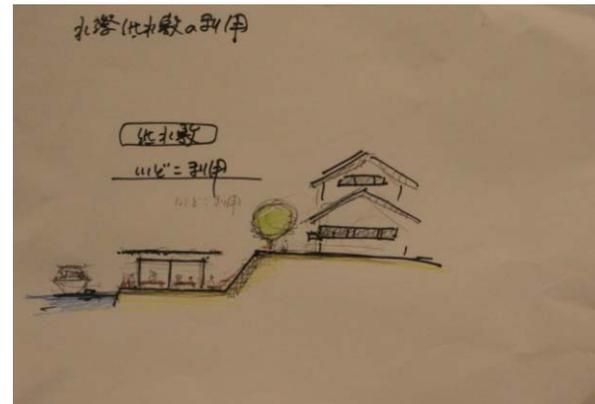
護岸公園の活用



駅前から大橋川へ



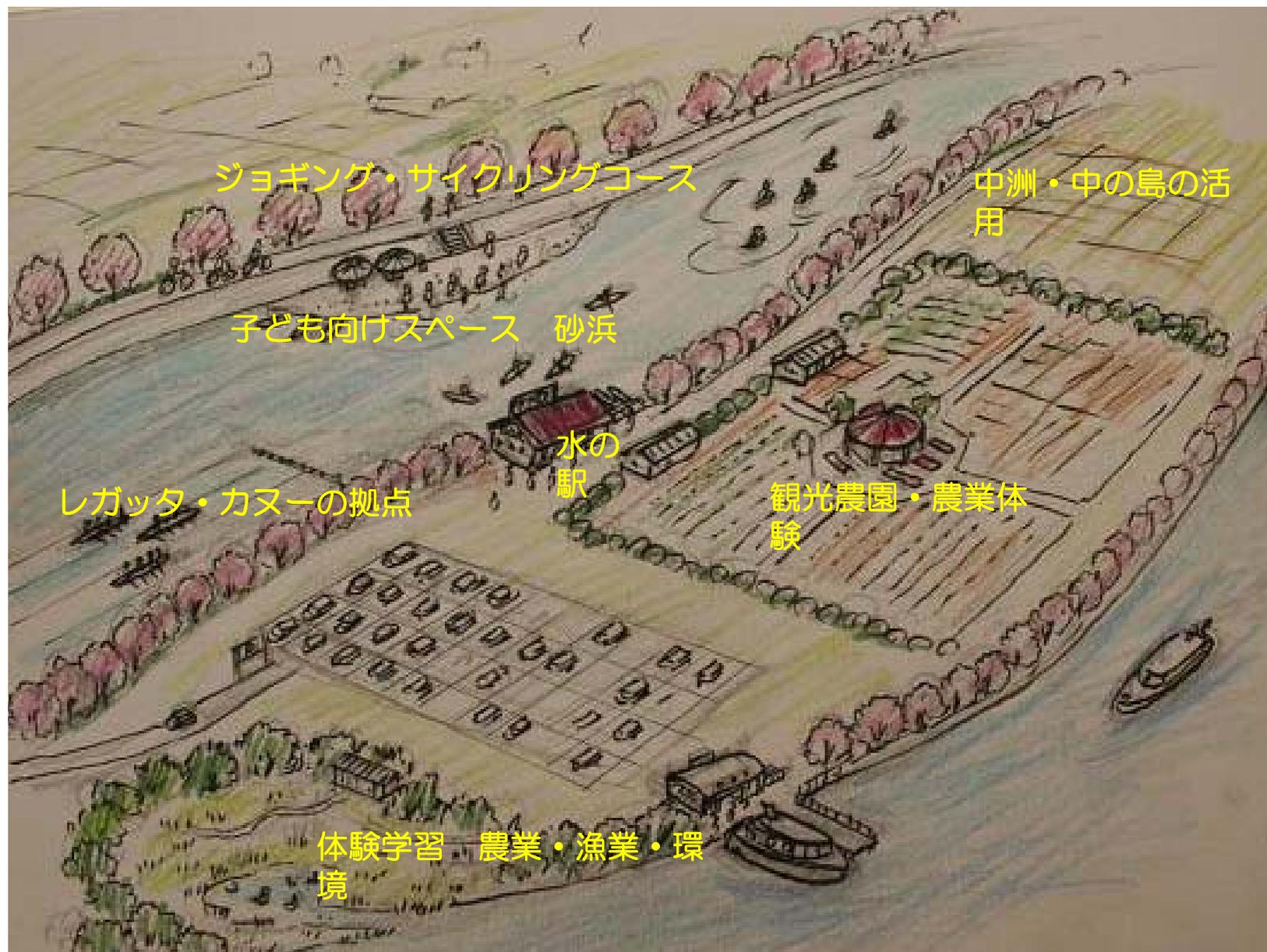
河床として利用



3. 市民と考える“水辺を楽しむ方法”～ワークショップ

テーマ② 水辺と水面を活かした

スポーツ・レジャー

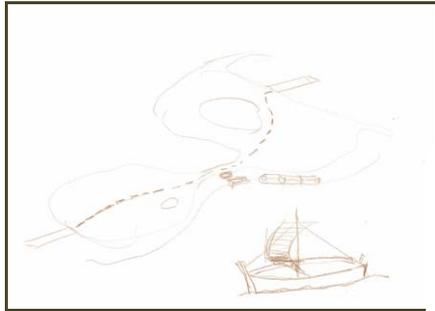


3. 市民と考える“水辺を楽しむ方法”～ワークショップ

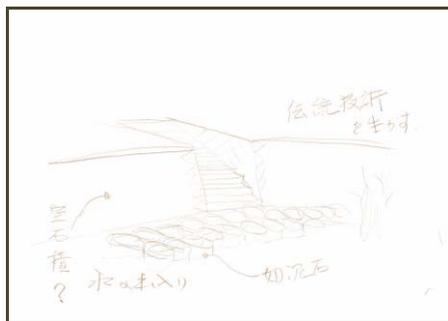
テーマ③ 水辺と水面を活かした

歴史・文化・環境体験エリア

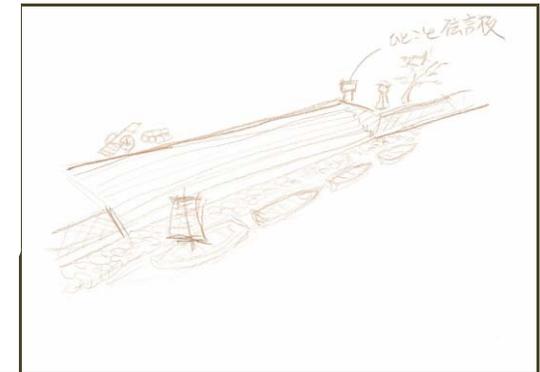
帆かけ船で米子空港へ



シジミ漁の子ども体験学習や観光船で自然・歴史を発見



伝統技術を生かす



歴史など紹介するひとこと伝言板

水辺の利活用～取組をはじめたところです

